

3. 海外向け抹茶テキストの作成

(1) 目的

茶の喫茶法として中国で作られた抹茶は、宋から帰国した栄西禪師によって日本に伝えられたが、発祥地である中国で衰退した反面、日本では茶道の発展と共にその内容も進化し、日本産抹茶はその美しさ、味、安全性等品質の良さから世界の注目になっている。

また、緑茶の健康効果、日本食の広がり、新たな食品添加物としての注目等々、更なる今後の広がり可能性を秘めている。

このような状況の中、品質の悪い安価な中国産の抹茶が出回り始め、本来の「日本抹茶」を危うくしている。

これに対処し、更なる日本抹茶の優位性を確保する為には、「日本抹茶」に対する国際的な理解を得る必要があり、海外に配布できる学術的背景をベースとした日本抹茶のテキストを作成すべき準備した。

(2) 執筆委員の選任

抹茶に係わる次の分野についての専門家を執筆委員とし、それぞれの分野について執筆を依頼した。

抹茶の歴史・文化	桑原秀樹(抹茶研究家)
茶の栽培	森田明雄(静岡大学教授)
抹茶の製造・評価法	村上宏亮(京都府茶業研究所主任研究員)
茶の化学	阿南豊正(日本茶業学会)
茶の健康科学	富田 勲(静岡県立大学名誉教授)
抹茶の飲み方・利用	岡本由希(和洋女子大准教授)
総括	木幡勝則(元野菜茶業研究所研究官)

(3) 検討会の開催

下記により検討会を開催し、テキストの内容等について検討を重ね、執筆に入った。

①平成 27 年 9 月 28 日 東京茶業会館 6F 会議室

☆テキストのレベル

☆テキストの規模

☆原稿締切期日 について協議

②平成 28 年 3 月 9 日 東京茶業会館 6F 会議室

☆各分野意見取り纏め

☆翻訳者について

☆監修者の決定

以上を以て本年度日本語版原稿が完成して当事業を終了した。

28 年度、監修・翻訳の上、印刷・発行する。